

# Vaccinated COVID-19

## 新型コロナワクチン接種後のトリートメントについて

2021年6月7日 発行

新型コロナウイルスのパンデミックの終息に向けワクチンの接種が世界199 カ国・地域で始まっています。日本国内でも医療従事者をはじめ、高齢者や基礎疾患を有する方、高齢者施設等で従事している方からの接種が進んでいます。

今後、新型コロナワクチンを接種する予定の方、及び接種後の方からの問い合わせに対応できるよう、ICA が考える「新型コロナワクチン接種後のトリートメント」についてガイドいたします。

現在、日本で接種できる新型コロナワクチンは3 種あります。

- ① 武田薬品工業(日本) / モデルナ社(米国)
- ② ファイザー社(米国)
- ③ アストラゼネカ社(英国)

国内で薬事承認されているワクチンは2回接種する必要がありますが、ワクチンの種類(モデルナ、ファイザー、アストラゼネカ)によって1回目を接種してから2回目を接種するまでの接種間隔が異なります。

- ① モデルナ 1回目の接種から4週間空けて、2回目を接種
- ② ファイザー 1回目の接種から3週間空けて、2回目を接種
- ③ アストラゼネカ社製のワクチンは現時点で国内にて接種できる会場はなく、国からの接種間隔の公表はありません。ただし、英国及びEUでは1回目の接種から4～12 週間(28～84 日)の間隔をおくこととされています。

上記の公開情報を踏まえ、新型コロナワクチンを接種した方のトリートメント対応は2回目の接種日から4 週間は開けた上で行うことが望ましいでしょう。

### ■ 予約は、新型コロナワクチン接種終了後4 週間以上開けて受けましょう。

トリートメントは体内のリンパや血流、体液などの流れを良くします。接種後に施術を受けることで急激にワクチンが体内を回り、アレルギー反応が起こる可能性や副作用が強くなるようなことも考えられます。また、新型コロナワクチンはmRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンという前例のないものです。トリートメントを受けるクライアントの安全性、また施術する私たちセラピスト自身を守るためにも、接種後4 週間を開けてのトリートメントが望ましいでしょう。なお、何らかの理由で4 週間の期間が開けられないような場合には、クライアントに対し起こり得るリスクを丁寧に説明、必ず同意書を書いてもらいましょう。また、新型コロナワクチン接種後に副反応がでたことのある方にはお医者様に事前に相談、施術可能であることを確認のうえご来店いただいでください。

## 参考資料

厚生労働省が発表している「接種後、数日以内に現れる可能性のある症状について」

発現割合	症状	
	コミナティ(ファイザー社)	モデルナ(武田薬品)
50%以上	接種部位の痛み、 疲労、頭痛	接種部位の痛み、 疲労、頭痛、筋肉痛
10～50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、 下痢、発熱、接種部位の腫れ	関節痛、悪寒、吐き気・嘔吐、 リンパ節症、発熱、 接種部位の腫れ、発赤・紅斑
1～10%	吐き気、嘔吐	接種後7日以降の 接種部位の痛みなど(※)

コミナティ添付文書、COVID-19 ワクチンモデルナ添付文書より

(※) 接種部位の痛みや腫れ、紅斑

ワクチン接種において、すべての方に副反応やアレルギーが出るわけではありません。ただし、体調の悪化が2～3 日後から2週間後までに起こることもあるようです。たとえば、ワクチン接種後にトリートメントを受け、その後何らかの不調や異変が起きた場合、施術により誘発された可能性も考える必要がでてきます。接種後の副反応が50%以上の方に起こるといふ現時点で、私たちセラピストが最も守るべきは「安全」です。セラピストとして危険を伴うセラピーおよび施術はできる限り避け、リスク回避を心がけていきましょう。

### ■新型コロナワクチン接種後も、感染予防の対策は継続しましょう。

ワクチン接種後は、新型コロナウイルス感染症の発症予防ができるかと期待されていますが、他の方への感染をどの程度予防できるのかは、まだ十分にはわかっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、ワクチンと受けた人、ワクチンを受けていない人も共に社会生活を営んでいくことになります。現段階では、これまでと同様に「3つの密（密集、密接、密閉）」の回避、マスクの着用、手洗いやアルコール消毒など、感染予防の対策の継続が必要です。クライアントとセラピストの安全と健康のために気を緩めることなく、ホスピタリティの一環としても取り組んでいきましょう。

### ■クレイセラピーの学習内における実習レッスンについて。

クレイセラピーの実習レッスンについては、対面、オンラインを含め、クレイセラピー検定対応講座テキストブック、またクレイセラピスト養成講座テキスト内のレシピでの実習レッスンを進めていただくことに問題はございません。新型コロナワクチン接種後も体調に変化さえ

なければ、特にデイリーに使用するクレイセラピーでの大きな心配はないと考えます。ただし体調や状態によっては体の反応が大きくなる可能性のあるクレイ湿布や全身ボディパック、クレイバスなどは後に回すのもよいでしょう。クレイセラピーの基本は、ご自身の体との対話です。無理をすることなくクレイセラピーの学習を進めてください。また、新型ワクチンを接種した日に入浴することも特別な問題はないと言われていますがクレイバスは普通の入浴に比べ、体内の循環を良くしますのでワクチン接種当日の入浴では避けたほうがよいでしょう。

ICA が提案する「クレイセラピストのためのCOVID-19 対策」はこちら  
<https://claytherapy.jp/news/200608>

《参考》

厚生労働省\_新型コロナワクチン接種後案内  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000770985.pdf>

接種についてのお知らせ  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00218.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00218.html)

新型コロナワクチンQ&A  
<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>

国際クレイセラピー協会  
東京都豊島区東池袋3-9-1オガタビル5階  
TEL:0120-327-900 FAX:03-5950-0761